

すわみつえ通信

No.360 2025年5月12日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

「未来は変えられる！戦争ではなく平和なくらし！2025憲法大集会」



憲法大集会の会場で
プラカードを掲げて
アピール＝5月3日

5月3日に有明防災公園で開催された憲法集会に3万8千人が参加！

《5党・会派の代表がズラリ》日本共産党の田村智子委員長、立憲民主党の辻元清美代表代行、れいわ新選組の櫛渕万理共同代表、社民党の大椿裕子副党首、参院会派「沖縄の風」の伊波洋一代表が壇上にずらりと並び、連帯のあいさつをしました。田村委員長は「戦後80年の今年、みなさんと一緒に、戦争国家づくりを断じて許さない、この一点での共同を大きく広げていこうではありませんか」とあいさつで呼びかけました。

《平和のバトン繋いで》帰路はゆりかもめで新橋駅まで。向かう参加者は憲法と同年代の方がとても多いです。平和のバトンを繋いでいく役割を感じました。

私の宣伝カーには、「憲法をいかし福祉・教育最優先の街づくり」のステッカーを貼っています。地域の小学6年生が、これを見て「社会科で今、憲法を習っている」と話しかけてくれました。いつもの生活の中で憲法が存在を語れたらいいですね。

労働者の祭典埼玉中央メーデーに参加して

5月1日はメーデーの日。第96回埼玉中央メーデーは、北浦和公園で1100人の参加の下、意気高く行われました。日本共産党議員団でエールを送りました。



後方（右）＝すわみつえ市議

市内小学校スクールバス乗降調査

5月7日（水）から9日（金）まで、鴻巣中央・下忍・吹上小学校に運行するスクールバスの乗降を見守りました。子どもたちは7時30分頃から各乗り場に集まり乗車し登校しました。鴻巣中央小は5コース5台・下忍小は1コース5台・吹上小は2コース2台です。今後も調査を続けていきます。



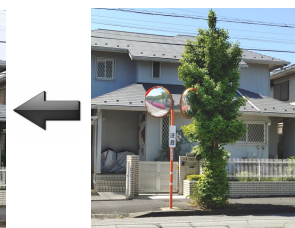
特に好き憲法前文
【俳句コーナー】
瑠璃子

一般質問の時間75分に戻る

5月9日開催の議会運営委員会で、コロナ禍で60分に短縮していた一般質問の制限時間を6月議会より75分に戻すことが決まりました。60分のままでよいという意見が、新未来こうのすど明誠会から出て、採決となりました。75分の日本共産党・公明党・かいいんたいと可否同数となり、委員長決済において75分に戻すこととなりました。

カーブミラーを隠す街路樹の剪定

赤見台第一小通学路のミラーが街路樹で覆われていました。市役所道路課職員の手配で安全確保。



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

「自由の女神像」は、現在のアメリカにとって無用になったのか

子どもの頃に見たチャールトン・ヘストンさん主演のアメリカ映画「猿の惑星」のラストシーンは、衝撃的だった。ヘストンさんらが演じる宇宙飛行士は、猿が人間を奴隷のように扱い支配する、恐ろしい星に降り立った▼数々の苦難の末、自由の女神像に遭遇し、愕然(がくぜん)とする。そこは未来の地球だったのだ。その後シリーズ化した「猿の惑星」の第1弾であり、記憶に残っている方も多かろう▼いと思うと、自由なき世界を描いた最後に、自由の女神像を登場させたアイロニー(皮肉)に脱帽する。半ば砂に埋もれた女神像の無残な姿は、自由がなくなった世界で無用になった悲哀を表していたのだろうか▼ニューヨークの港に立つ女神像は言わずと知れた、自由と民主主義の国アメリカの象徴である。ただ映画のように、現在のアメリカにとってはもはや無用になったのだろうか。「返還せよ」とフランスの政治家が求めている▼女神像は合衆国独立100年を記念してフランスが寄贈し、1886年に完成した。返還を主張した政治家は、もはやアメリカは像を贈った際の価値観を体現していないと訴える。異なる意見を排除するなど、強硬な姿勢が目立つトランプ大統領を念頭に置いている▼女神像の正式名称は「世界を照らす自由」という。いつまでも揺るぎなく立ち続けて大切な自由を守り、自由のない国々にも光を注いでほしい。そのためにアメリカは、自由と民主主義のリーダーとして築き上げてきた誇りを失ってはならない。

【新潟日報 5月9日付 コラム「日報抄」】



「世界中と連携して行動するのが、いま独立国家である日本のなすべきこと!」「貢ぎ物外交やめよ!」と応援コメントが書き込まれています。

トランプ関税を斬る

突然、トランプ米大統領が「トランプ関税」の上乗せ分を90日間停止すると発表した翌日の参院財政金融委員会(4月10日)で小池書記局長の質問ショート動画(1分40秒)です。

小池氏は、「相互関税」上乗せ分「90日間停止」の一方で中国への関税を125%に引き上げる事態に、「米中貿易戦争がエスカレートすれば景気悪化となり、日本と世界の経済に重大な影響が出てくる」と指摘。「東アジアをはじめ世界各国と結束して不当なトランプ関税撤回を求めてこそ、経済も暮らしも守れ

史上初 米国出身の新ローマ教皇・プレボスト枢機卿 レオ14世名乗る

【バチカン市＝時事】カトリック教会の最高指導者、ローマ教皇を決める選挙「コンクラーベ」で、5月8日の投票の結果、4月に88歳で死去したフランシスコ教皇の後任に、米国のロバート・フランシス・プレボスト枢機卿(69)が選出されました。第267代教皇で、レオ14世を名乗ります。米出身の教皇誕生は史上初めて。新教皇はペルーの市民権も有しています。アルゼンチン出身のフランシスコ前教皇に続き、南米にゆかりのある人物が選ばれました。

バチカン市にある選挙会場のシスティーナ礼拝堂からは8日午後6時(日本時間9日午前1時)すぎ、新教皇が決まったことを示す白煙が上がり、鐘が鳴りました。その後、カトリックの総本山サンピエトロ大聖堂のバルコニーにレオ14世が登場。笑顔で手を振って初演説に臨み、広場に集まった数万人に「皆さんに平和があらんことを」と語りかけました。

選挙では、前教皇が進めた改革の継承か、伝統への回帰かが最大の争点となりました。プレボスト氏の考えは前教皇に近く、大筋で改革路線が踏襲されるとみられています。 【時事通信 5月9日付】



新教皇レオ14世